労山愛知

愛知県勤労者山岳連盟機関紙

２０１５年４月１７日発行

Ｎｏ．５０９（第４７期２号）

〒454-0055
名古屋市中川区十番町 2-8
栄和産業(株)ビル 2F
TEL/FAX　052-654-1210
http://aichirousan.web.fc2.com/

4 月 5 日、第 47 期愛知県連登山学校がスタート！

装備、なぜ必要か、どう使うかを学ぶ
（4/5 登山学校　県連事務所にて）

2015 年 4 月 5 日（日）から、愛知県連第 47 期登山学校がスタートしました。受講生は、10 山岳会から 21 名（クライミング・コース 14 名、マウンテニアリング・コース 7 名）。

朝早くから集まった受講生のほかに、昨年度以前の受講生で、今年研修生になったメンバーやスタッフ、アシスタントコーチなど 10 数名が参加し、登山学校が始まりました。

この日は、愛知県連の洞井会長・理事長を講師に「労山運動の理念」の講義。午前中は「なぜ、山に登るか？」「登山とはなにか？」という問いかけから、登山がきわめて知的・文化歴なスポーツ、であり、「遊び」であることに触れ、「事故を起こさない」こと、「真剣に遊ぶこと」の大切さを学びました。

昼食休憩をはさんで、午後からは、受講者をグループに分け、「下山遅れ事故」の事例を取り上げ、その事例における問題点を討論し、発表しあって、計画の大切さについて学びました。計画書の役割、各項目の意味について解説するとともに、計画書に記載された装備（とくにベーシック・ミニマム）について、ひとつひとつ「何が必要か？」「なぜ必要か？」「どう使うか？」を実物を見たり使ったりしながら学習しました。開校式、顔あわせを兼ねた第一回の理論ロ座でしたが、登山学校の基本的なスタンスを学んでもらう大事な一日になりました。

《目次》

教育部	4/5　第 47 期愛知県連登山学校がスタート！	1
遭対部	ロードセル研修／兵庫県・百丈ヤグラで	2
組織部	「プラス１」の取り組み強めよう	2
	平和あってこその登山。「2015 年あいち平和行進」に参加しましょう	2
	一般向け登山講座 14 日から開講。受講者は 60 名。	3
遭対部	4/40　春山合宿遭対連絡会議を開きました	4
婦人部	第一回女性のつどいを開きました。	5
教育部	4/8　第一回教育担当者会議を開きました	6
自然保護部	これまで以上に多くの会員の参加を！　御在所岳清掃登山	6
	4/10　第二回清掃登山実行委員会を開きました	7
スケジュール		8

4 月 11 日　ロードセル研修／兵庫県・百丈ヤグラで

ロードセルの使い方を学ぶ（4/11　百丈ヤグラで）

4 月 11 日、六甲の岩場のひとつとして知られる百丈岩の麓にある大阪府勤労者山岳連盟の百丈ヤグラで、ロードセルの使い方を学習しました。登攀時には、支点にロープをかけて確保をしますが、どちらかが墜落した場合に、その支点にかかる荷重はそうとうに大きなものになり、一定以上の衝撃や荷重がかかると支点の破断、ロープの切断によって、生命にかかわる状況を招きかねません。ロードセルというのは、確保支点に取り付け、登攀者に見立てた重量のおもりを落下させて、確保した登攀者がその墜落を止める動作をしたときに支点にかかる衝撃荷重を測定する機械です。愛知県連盟では 10 年近く前には、このロードセルを使って、確保支点にかかる荷重を測定し、その力のかかり方を波形でとらえ、プリントアウトしながら確認し、制動確保の練習をしていたのですが、故障してから長い間、ロードセルなしでの確保技術講習を行ってきました。

昨年、大阪府連にロードセルとともに、そのデータの取り込み、目でとらえることのできるシステムの制作をお願いしました。愛知県連で、このシステムを理解し、いつでも使うことのできる仲間を養成したい、という思いもあって、今回の研修の場が設けられたものです。

参加したのは、県連の登山学校コーチ会議、県連遭対部関係者 11 名（5 山岳会）。大阪府連からは 5 名の方に、この百丈ヤグラでの準備と実施のために協力していただきました。

11 日、雨模様の天気の中を出発。現地集合時間の午前 10 時ころには、雨はやむ気配、午後からは青空がのぞき、時折日が射すまでに天候は回復。

すでに百丈ヤグラには大阪府連のメンバーによって準備が整っていました。ロードセルの設置、パソコン、プリンタの接続、データの取り方など詳細な説明を受けた後、パソコンを操作する一方で、メンバーひとりひとりがプログラムの設定や確保のシチュエーションを変え、実際に確保をしながら、器具や制動確保による荷重データの確認などを繰り返し学習しました。

大阪府連のメンバーに百丈岩周辺を案内してもらったあと、愛知県連のメンバーは付近の川原に設営。翌 12 日の午前中は、4 つの登攀パーティーに分かれて、百丈岩のいくつかのルートを登って帰ってきました。昨年、計画しつつ悪天で実施できなかったのですが、幸い、いい形で研修を行うことができました。これから愛知県連の確保技術講習会でも、自分自身の確保のありようを自分の目で見て確認することができるようになります。大事な一歩になったように思います。

組織部　「プラス1」の取り組み強めよう

４月１０日までに各会から報告された会員数の集計では会員増は 5 人、減が 18 人です。例年、年度の変わり目で、会員数の変動が大きな時期です。同時に新しく入会者を迎えるチャンスの時期でもあります。「＋１」の取り組みは、各会が「現状プラス一名の入会者を迎えよう」という取り組みです。各会が発信を強めることで多くの仲間を増やしましょう。

平和あってこその登山。「2015年あいち平和行進」に参加しましょう

戦後７０年の節目を迎えた今年もまた、「平和行進」が実施されます。1958 年 6 月に始まった平和行進は半世紀以上も毎年実行され続けてきました。“ノーモア・ヒロシマ！ノーモア・ナガサキ！”　“核兵器のない世界を”　と核兵器廃絶を訴え、すべての都道府県と 7 割を

超える自治体を通過する国民的行動です。労山は、1987 年に労山旗をリレーすることを地方連盟と申し合わせ、積極的に参加してきました。愛知県勤労者山岳連盟も当初からずっと参加し続けてきています。「２０１５年あいち平和行進」は 5 月 31 日（日）に静岡県から労山旗を受け、愛知県内をリレーしながら 6 月 11 日（木）に岐阜県に渡します。日本を「戦争ができる国」にしようという動きが強まっています。平和あってこその登山です。多くの皆さんがこの行動に参加されるよう呼びかけます。ひとりでも多く、友人・家族にも呼び掛けて、一緒に歩きましょう。（日程の詳細は

ttp://gensui.peace-aichi.net/）

一般向け登山講座 14 日から開講。受講者は 60 名。

県連の一般向け登山講座「基本から学ぶ安心登山 2015」は 4 月 14 日（火）から開講されます。受講申し込みは、定員の 40 名を大きく超えて 60 名になりました。50 名を超えた時点で申し込みを断ろうという申し合わせをしたのですが、電話、ファックス、メールなど申込形態がさまざまなためにタイミングを逸してしまうという結果になりました。多くの受講者が受講動機に「登山を基礎から学びたい」と述べています。今年は「我流で登っていたので…」という人たちも増えています。その期待に応えたいという思いと、実際に講座をどう運営していくか、という責任の重さに、うれしい悲鳴が上がっています。一番悩ましいのが実技です。どう安全を確保しながら、実際に登山を経験し、学んだことを検証してもらうか、が大きな課題です。多くの山岳会にとっても、入会者をつかまえるチャンスだといえるかもしれません。

県連盟組織数推移（2015 年 1 月～3 月）

加盟団体	2015 年 1 月末現在 在籍会員数			2 月末現在 在籍会員数			3 月末現在 在籍会員数		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
あつた勤労者山岳会	38	33	71	37	33	70	37	33	70
アリス山の会	3	4	7	3	4	7	3	4	7
犬山勤労者山の会マップ	21	35	56	21	35	56	19	29	48
おやこ山の会	3	6	9	3	6	9	3	6	9
春日井峠の会	23	21	44	23	21	44	23	21	44
かわせみ山楽会	7	3	10	7	3	10	7	3	10
じねんじょ山の会	32	26	58	32	26	58	32	26	58
スルジェ山の会	15	17	32	15	17	32	15	17	32
ちんぐるま	5	0	5	5	0	5	5	0	5
東海山岳会	29	7	36	29	7	36	29	7	36
名古屋ありんこ山岳会	21	17	38	21	17	38	21	17	38
名古屋 ASC	22	13	35	22	14	36	22	14	36
名古屋山岳同志会	56	42	98	57	43	100	58	40	98
名古屋山歩会	17	6	23	17	6	23	17	6	23
半田ファミリー山の会	37	51	88	37	51	88	37	51	88
東三河山ぽ会	84	90	174	84	90	174	81	89	170
低い山を楽しむ会	9	6	15	9	6	15	9	6	15
ふわく山の会	109	111	220	109	112	221	109	110	219
みどり山の会	7	23	30	8	23	31	9	23	32
山の会「くらら」	38	30	68	38	30	68	38	30	68
若駒山岳会	12	9	21	11	9	20	11	9	20
合計	588	550	1138	588	553	1141	585	541	1126

遭対部　4/10 春山合宿遭対連絡会議を開きました

春山合宿遭対連絡会議を4月10日（金）19：30から県連事務所で開きました。12山岳会24名が出席しました。今期は連絡会議の日時設定が早かったこともあって、計画書の提出は 7山岳会15通にとどまっています。連絡会議に計画が間に合わなかった会、これから取り組むという会も、県連の遭対部に計画書を提出してください。

【出席者】西尾（くらら）、天池（アリス）、望月（ふわく）、新海・洞井(半田 F)、白井・祖父江・半田（じねんじょ）、安・水越・福本・廣田（同志会）、森島（ありんこ）、嶋村・甲斐・宇佐美・松田（あつた）、石井・松本・前田（東三河）、横井（山歩会）、千田（スルジェ）、安江・庵（ASC）

〇会議では、以下のような指摘・質問がありました。

・3つのパーティーで源次郎尾根の登攀をするという計画だが、計画書にはスノーバーは1本しか挙げられていないが、どのような意図か？

・「ツェルトが個人装備になっているが」という質問に対して、「会として共同装備としてという考え方をとっていない、ツェルトは1～2 人用を全員が持っていくという考え方だ」という説明があった。

〇洞井会長から以下のような注意がありました。

今年は雪が多い。十分注意が必要だ。このルートは以前行ったからと言っても、毎年同じではなく変化していることを頭に入れて行動して欲しい。こんなところではザイルを出さない、などという一般的な認識で安易にスルーしない、必要な時は必要、あくまで安全を確保するということを第一に考えてほしい。また、ツェルトの個人装備の考え方も、共同装備、という場合の使い方や大きさなどを知っていることが前提。会をまたがっての山行などの場合には双方のベースが食い違っているといざというときに使い物にならないということにもなる。元気に報告会議で会えるよう充実したいい合宿にしてほしい。

〇遭対部からの連絡

・来る5月15日（金）19：3～春山合宿遭対報告会議です。報告書を各30部持参して下さい。

・「凍傷プロジェクトの提言」を参考にして下さい。資料の無い会は連絡を。

第47期春山合宿提出一覧

山　岳　会		山　域	コ　ー　ス	日　程	人数
あつた勤労者山岳会	A	南ア	歌宿～長衝小屋～千丈ヶ岳～長衝小屋～甲斐駒ケ岳～長衝小屋～歌宿	5/2~4	11
	B	紀伊	天川川合～称山～八経ヶ岳～釈迦ヶ岳～前鬼小仲坊～前鬼口	5/2~5	3
じねんじょ山の会		八ヶ岳	富士見高原～網笠山～青年小屋　往復	4/25~26	13
名古屋ありんこ山岳会		北ア	八方池山荘～唐松岳頂上小屋～唐松岳　往復	5/2~3	11
名古屋山岳同志会	A	北ア	上高地～涸沢～奥穂高岳　往復	5/3~5	6
	B	北ア	室堂～雄山～雷鳥沢～別山～雷鳥沢～室堂	5/3~6	14
	C	北ア	室堂～剣沢～源次郎尾根～剱岳～室堂	5/2~6	9
名古屋山歩会		北ア	飛越ﾄﾝﾈﾙ～北ノ俣岳～太郎平～薬師岳～太郎平～赤木沢～北ノ俣岳～飛越ﾄﾝﾈﾙ	5/1~6	3
半田ファミリー山の会	A	静浦 天城	香貫台口～徳倉山～多比口・天城高原～万万三郎岳～天城峠～三蓋山～仁科峠	4/24~26	12
	B	北ア	上高地～横尾～槍沢～槍ヶ岳　往復	5/3~5	9

東三河山ぽ会	AB	北ア	上高地～涸沢～北穂高岳～涸沢～奥穂高岳～涸沢～上高地	5/1~5	9
	C	北ア	上高地～横尾～蝶ヶ岳～横尾～上高地	5/3~5	5
	D	四国伊予	伊予富士口～伊予富士･寒風山口～寒風山～笹ヶ峰・白石ロッジ～石鎚山　往復	5/1~4	4
	E	奥多摩	鴨沢口～雲取山ﾑ～三条の湯	5/3~5	7

第 47 期第 1 回遭対担当者会議を開きました

3 月 26 日（木）19：30～今期第 1 回の遭対担当者会議を開き、12 山岳会 15 名が出席しました。

【出席者】佐藤（かわせみ）、水谷（ありんこ）、阿賀谷・石井（東三河）、鈴木・二宮（みどり）、尾崎・中野（じねんじょ）、千田（スルジェ）、安（同志会）、森田（あつた）、安江（ASC）、清水（東海）、洞井（半田 F）、望月（ふわく）。

（1）第 47 期の活動方針と直近の予定をあわせて確認しました。

未然に事故を防ぐ取り組みを強化するとともに、事故が起きた場合の迅速な対処や処置ができる体制の整備、知識・技術の各会、会員への普及を目指します。そのために

① 合宿遭対連絡・報告会議、担当者会議を開催します。

・春山合宿遭対連絡会議は 4 月 10 日（金）、同報告会議は 5 月 15 日（金）、5 月 29 日（金）、第 2 回遭対担当者会議、いずれも 19：30～県連事務所で

② 確保技術講習会、無雪期・積雪期救助訓練、救急法講習会を実施します。

・4 月 11 日（土）～12 日（日）ロードセル研修。百丈ヤグラ。確保技術講習会は机上、6 月 15 日（月）19：30～県連事務所、同実技は 6 月 21 日（日）滋賀県大津市の比良山岳センター。無雪期救助訓練は机上 6 月 22 日（月）19：30～県連事務所、実技は 6 月 28 日（日）御在所岳。

③ 東海ブロック雪崩講習会を実施します。

・机上は 11 月 15 日（日）県連事務所、実技は 2016 年 1 月 23 日（土）～24 日（日）。

④ 事故事例を収集・分析し、具体的な事故防止策・救助技術を探ります。

⑤ 事故事例集を発行します。

⑥ 救助要員の組織化に努めます。

⑦ 「ストック破損問題」の取り組みを進めます。

（2）遭対始動資金について

総会で託された「今期で 200 万円を超えるが、更に積み上げるかどうか」を検討しました。結論は、「第 48 期から徴収を中断する」ことで一致しました。

（3）事故報告　1 件

No.1　雪の穴を踏み抜き足を痛めた

【発生日時】2015 年 2 月 28 日（土）11：10 頃　【山域・山名】鈴鹿・水晶岳

【事故者】女性、65 歳

【負傷の程度】左腓骨にひび

【事故の概要】山頂より下山開始、県境稜線の水晶岳と分岐の中間で積雪が 40～50ｃｍあったためアイゼンを着け歩き始めた。雪穴を踏み抜きその際、左足を痛めた。根の平峠で応急処置（湿布）をし、ゆっくり下山した。翌日整形外科を受診、左足首靭帯損傷（捻挫）と診断されたが、3 月 9 日再受診、MRI をとり腓骨にひびが入っていると診断されギブスで固定。

▲指摘・反省など

・転倒したときの状態をより具体的にして欲しい。

婦人部　4 月 2 日　第一回女性のつどいを開きました

4 月 2 日(木)19 時から県連事務所で第 1 回女性のつどいを開きました。

5 山岳会 6 名【近藤、生駒(同志会)、木村(あつた)、小川(スルジェ)、河村(峠)、辻村(ふわく)】の出席で、今年度の方針の確認と、今期の婦人部の年間活動計画について話し合いました。

（今年度の方針）

各会女性会員のネットワークづくりを進めます。そのために。

① 女性会員相互の意見交流の場を設けます。

② 「労山愛知」や県連ホームページを活用し、

広く各会に婦人部の取り組みを発信します。

③ 他の専門部と連携をし事故をおこさない登山の知識や技術の向上、身体づくりを推進します。

※ 山筋ゴーゴー体操の冊子(DVD 付)をまとめて購入致します。ご希望の方は各会の理事さんをとおして辻村までお申込み下さい。

※ 次回は５月７日(木)県連事務所 19：00 からです。女性会員の皆さんの出席をお待ちしています。

教育部　4月８日(水)第1回教育担当者会議を開催しました。

4 月 8 日(水)　19:30～21:00　　県連事務所
出席者：(あつた)森田健一、(みどり) 澤田ますみ、(半田 F) 尾崎三郎、
松野晴代（スルジェ)、堀田健治（春日井峠)
廣田猛（同志会)　　６山岳会６名

大半の会が新しい出席者となり、リフレッシュしたなか、県連 47 期の教育担当者会議がスタートしました。初回の会合なので、自己紹介と各会の教育の様子を簡単に話し合ったあと、教育担当者会議の役割と今期の教育部方針の確認を行いました。
そのあとの意見交換で、ハイキングレスキューをやりたいが取り組みが十分でないとか、ベーシックミニマムがお守りになっているだけで、使い方が周知されていないのではなど各会の中で抱えている課題の報告がありました。
教育担当者会議ではその実態を把握し、今後も会議で話し合っていくことを確認しました。
有意義な会合になるよう努めていきますので、今回欠席の会も、是非、御出席をお願いします。
次の会議予定は６月３日（水)。

登山学校の理論講座は、会員なら誰でも受講可能です。

「学びたい」と思う講座をチョイスして聞くことができます。この機会を有効に使いましょう！
有料ですが（一講座 500 円)、なかなか、普段、会では学べない内容の講座がラインナップ。
講座当日、１９時半までに県連事務所へどうぞ！　県連登山学校のテキストも、希望者には頒布（1000 円）しています。当日の講師の補足資料（受講者に配布）とあわせて利用してください。

５月の理論講座を紹介しておきます。いずれも 19:30 から県連事務所で。

期日	テーマ	内容
４月 20 日(月) 講師：洞井孝雄	登山の計画～下山まで 生活技術，行動技術	山での生活の基本、行動上の注意点、歩き方や危険箇所の判断・通過の仕方などについて学習します。
５月 11 日(月) 講師：洞井孝雄	パーティ論・リーダー論	パーティーが安全に登り、確実に下山できるためにリーダーやメンバーが果たすべき役割と責任は？
５月 18 日(月) 講師：飯田　征	地図の読み方・使い方	地図の実践的な使い方、読み方を学ぶとともに、計画書作成に不可欠な概念図の書き方について学習します。
５月 25 日(月) 講師：飯田　征	気象Ⅰ	天気図と山の天気の基礎を学びます。天気予報だけではわからない、気象のあれこれが見えてきます。

これまで以上に多くの会員の参加を！御在所岳清掃登山

６月７日の鈴鹿山系清掃登山当日まであと一か月半と迫ってきました。これまで御在所岳、藤原岳二山域で実施してきましたが、今年の清掃登山は、山域を御在所岳のみに絞って実施されます。藤原岳では、1988 年の第 16 回清掃登山（この年は御在所岳、鎌ヶ岳、藤原岳で実施。翌年の第 17 回から御在所岳、藤原岳の二山域で実施）以来、昨年（2014 年）まで「鈴鹿山系清掃登山」の山域にしてきましたが、昨今の当該自治体の取り組みの後退と、ここ数年、県連と当該自治体との緊張関係が希薄になり、形式的なやりとりになってきていること、同山域では他の団体の取り組みも行われるようになってきていること等から、清掃登山の原

点である御在所岳に集中したい、というのがその理由です。山のゴミは1974年の第一回御在所岳清掃登山(39名参加)で土嚢袋で80袋、1980年(第8回221名)には1400kgを回収した記録と比べれば、300kg前後に減ってきていますが、相変わらずなくなりません。

清掃登山は、参加者ひとりひとりが御在所岳に登って、自然に触れ、山と仲良くなること、実際にほんの小さなゴミであっても、それを拾うことで自然を守ることの大切さを感じてもらうこと、同時に、これだけ多くの人が山にゴミを捨てるな、持ち帰ろう、と考えながら山に登ってきているんだぞ、ということを周囲にアピールする大きなデモンストレーションであると愛知県連では位置づけています。山域がひとつになっても、これまで以上に多くの会員の参加で成功させなければなりません。

自然保護部　4／10、第2回清掃登山実行委員会を開きました。

【出席者】成田(くらら)、田中(あつた)、榊原(半田F)、平松(じねんじょ)、副田(スルジェ)、白水(かわせみ)、戸次(みどり)、森(東三河)、渡辺(同志会)、花井(ASC)、澤井(春日井)、榊原(ありんこ)13山岳会13名出席

議題および、その内容は以下の通りです。

第４３回鈴鹿山系清掃登山について

① 自然保護憲章とその解説書のコピーを配布し、清掃登山の意義や取組みに関して実行委員会のメンバー内の意識の統一を行った。

② 自治体交渉に関して

4/9(木)の予定でしたが、4/16(木)に延期されました。

尚、出向く自治体は、三重県、菰野町、御在所ロープウエイ、いなべ市（これまでの挨拶と今年度から実施しない旨の報告）の四か所とする

・開催規模について

これまでの実施状況、愛知県連の組織数から800名規模での開催を目指す

・各会の登山・下山ルートの確認

＊各会で登山・下山ルートを検討・確定し、次回の清掃登山実行委員会に報告する。実行委員会では報告に基づき、重複などを確認して調整を行う事とする。

・当日のスタッフについて

＊次回子までに必要な当日スタッフの人数を確定し、各会の分担を決定する。

③ 水質調査の段取り

４月１１日（土）に実施

当日、裏道登山口に7時集合

④ 藤原岳ハルサキヤマカラシの駆除について

・清掃登山とは一線を画し、清掃登山の代替の取り組みにはしない。登山者として、藤原岳の植生が破壊されることは黙過できないことを、明確に自治体に告げる。その確認のうえで、以下の取り組みを進めることにしました。

4/4(土)に藤原岳自然科学館館長と今後の詳細な実施計画を協議、

4/5(日)には「藤原岳の自然を守る会」と協議。

その結果、以下の行動計画を策定

継続的な駆除を行う。具体的には毎月の担当の山岳会(複数)を決めて、4月～11月に駆除を行い、5年間を目途に活動を継続する。

駆除のエリアを固定する。具体的には藤原山荘(避難小屋)の北側の裸地と展望台に向かう登山道の東側に木の杭を打ち、荒縄でエリアを決め(初期は20m四方からスタート)、そこから駆除を集中的に行う。

駆除方法の模索。根っこから抜く方法と花を摘む(発芽させない)方法の2通りとし、経過を観察することで、より効果的な駆除方法を模索する。

駆除したハルサキヤブカラシの処理に関しては、来週のいなべ市との話合いを通じて、山頂に纏めておくのか、下の小屋まで下ろすのかを決定する。

今後、上記の駆除方法が他の団体と統一可能かを検討する。

⑤ 今後の日程

4/23(木) 第３回清掃登山実行委員会 19:30～県連事務所にて

5/14(木) 第４回清掃登山実行委員会

5/28(木) 第５回清掃登山実行委員会

6/4(木)　第６回清掃登山実行委員会

6/25(木) 第２回自然保護担当者会議

Schedule　2015

2015年4月			5月			6月		
1	水		1	金	第47回県連総会	1	月	登山学校　理論８
2	木	女性のつどい１	2	土		2	火	一般登山講座　理論６
3	金	理事会３	3	日		3	水	教育担当２
4	土		4	月		4	木	清掃登山実行委６
5	日	登山学校　理論１	5	火		5	金	理事会７
6	月	登山学校　理論２	6	水		6	土	
7	火		7	木	女性のつどい２	7	日	第42回清掃登山
8	水	教育担当１	8	金	理事会５	8	月	登山学校　理論９
9	木	清掃登山実行委２	9	土		9	火	
10	金	春山合宿遭対連絡会議	10	日	登山学校実技 M2C2	10	水	
11	土	ロードセル研修	11	月	登山学校　理論５	11	木	女性のつどい３
12	日	ロードセル研修	12	火	一般登山講座　理論３	12	金	
13	月	登山学校　理論３	13	水		13	土	
14	火	一般登山講座　理論１	14	木	清掃登山実行委４	14	日	登山学校実技 C4
15	水		15	金	春山合宿遭対報告会議	15	月	確保技術　机上
16	木		16	土	一般登山講座　実技１	16	火	
17	金	理事会４	17	日	登山学校実技 C3	17	水	
18	土	登山学校実技 M1C1	18	月	登山学校　理論６	18	木	
19	日	登山学校実技 M1C1	19	火	一般登山講座　理論４	19	金	理事会８
20	月	登山学校　理論４	20	水		20	土	
21	火	一般登山講座　理論２	21	木	組織担当２	21	日	確保技術講習会 M4C5
22	水		22	金	理事会６	22	月	無雪期救助訓練机上
23	木	清掃登山実行委３	23	土	登山学校　実技 M3	23	火	
24	金		24	日	登山学校　実技 M3	24	水	
25	土		25	月	登山学校　理論７	25	木	自然保護担当２
26	日		26	火	一般登山講座　理論５	26	金	
27	月		27	水		27	土	救命救急法
28	火		28	木	清掃登山実行委５	28	日	無雪期救助訓練 M5C6
29	水		29	金	遭対担当２	29	月	登山学校　理論 13
30	木		30	土	一般登山講座　実技２	30	火	
			31	日				

気が付かないうちに桜が咲き、散ってしまった感のある春です。もうないだろうといわれていた寒の戻りが、桜と雪を一緒に見せられるような現象も。まだまだ冷え込むことのある昨今、要注意です。

12日、統一地方選が行われました。残念ながら、新聞には「再稼働語らず勝利」「選択肢狭まり低調」などの言葉に加えて、「『安倍カラー』加速」などの言葉が躍る結果となった選挙でした。集団的自衛権容認、戦争立法、原発再稼働推進、改憲…、どんどん私たちの国は危険な方向へ向かっていきます。このまま放置すれば、次世代に、恥ずかしくて引き継げないような国になってしまいそうです。山だけではなく、私たちの足元をきちんと見つめていくことが、これからますます必要になってきているのだろうと思います。

ご意見、ご用望・投稿などはメール、または県連事務所あてに郵送してください。

http://aichirousan.web.fc2.com/　　e-mail:aichirousan@gmail.com